

海老名市保護者負担経費の在り方についての提言

海老名市保護者負担経費の在り方討委員会では、海老名市における公立学校教育に関する保護者負担の課題に対して様々な資料をもとに協議し、保護者負担経費の在り方について検討した。その結果として次のとおり提言する。

基本的に目指すものは、保護者負担の軽減を図ることであり、これまでの保護者負担経費軽減の取り組みを踏まえた上で、社会状況等に応じた適切な運用をするため、各項目について提言する。

令和7年1月22日

海老名市保護者負担経費の在り方討委員会

1 標準服（制服）について

標準服の値段は、従前と比べれば価格は抑えられている。安価とは言えないが標準服の使用には均一化等一定のメリットがあると考えられる。

- (1) 夏服は使用頻度が少なく有効とは言い難い面があるため、将来的には夏服を廃止し全季節で使用できる標準服への切り替え等、夏服の在り方について今後検討してほしい。
- (2) 他市で実施されている標準服の市内標準化や既製品の活用について、引き続き情報収集を行い、次回見直し時の参考としてもらいたい。
- (3) バザーや譲渡・交換会等、使われなくなった標準服の再利用が十分に行われるよう、検討してほしい。

2 ジャージについて

コンペ等の実施により価格には一定の抑制効果が見られる。洗濯の必要性や消耗度が高いことから複数枚購入する必要があり安価とは言えないが、夏服の代わりに使用されるなど使用頻度は非常に高く、総合的には保護者の費用負担は抑えられている。

- (1) ジャージは制服に比べると損耗が激しくリユースは少ないが、家庭内でのお下がり等、一定の需要があるため、デザイン等見直しの時に各校で仕様について検討し、学年を識別する目印の廃止や着脱式への変更等、在り方を検討してほしい。

3 運動用Tシャツ・ワイシャツ・ホッパシャツについて

- (1) 前方針で打ち出された「基本仕様を定めた上での自由化」の拡充及び周知を進めてほしい。

4 修学旅行について

- (1) 交通費や宿泊費は、旅行が安心安全に実施されるために不可欠であるため、高騰分等については公費負担での対応を教育委員会に求めたい。
- (2) 修学旅行先や内容について、小中学校ともにその目的や効果を保護者や児童生徒と認識を共有した上で、話し合いを行い、見直しをすることも検討してほしい。

5 教材について

- (1) 教材費無償化については教材の価格動向等を踏まえ、学校が選定した教材を過不足なく購入できるよう上限額を定めてほしい。
- (2) リコーダー、絵の具セット、書道セット、裁縫セット等については、学校ごとに差異が生じないように、通常の教材とは別扱いで、内容物や選べるデザインの種類などが同一規格の教材を全校共通の教材として調達し支給してほしい。
- (3) 区域外就学の児童生徒の教材費についても、学校現場が教材費を徴収することの負担を考慮し、教材費無償化の対象としてほしい。
- (4) 教材費無償化の財源は公費であることを踏まえ、教材の共通化や共有化について進めてほしい。

※1 共通化：用途等が同一の教材について、原則として一種類の教材を使用すること。大量発注によるコストダウンが見込める。

※2 共有化：主に使用時期が短く耐用性が高い教材を学校備品としたり、授業中複数人で交代で使用することが可能な教材について購入数量を抑えることで、購入価格の低下や資源の有効活用が見込める。

6 卒業アルバムについて

アルバムの媒体について、紙媒体は記念品としての価値が高く保護者の多くも存続を支持している。一方でアルバムの価格については多くの保護者が高額と感じている。

- (1) 各校で費用とのバランスを考慮した上で、文集の分離や掲載する写真等のアルバムの内容や表紙の仕様や装飾等について継続的に見直しを行ってほしい。
- (2) 電子化等についても今後、必要に応じて検討してほしい。

7 学校給食について

- (1) 現在の給食費の価格は保護者からは一定の理解を得ているので、物価高騰等が給食費に影響しないよう公費負担の継続を求める。
- (2) 給食費無償化を希望する意見も根強くあるので、今後も社会情勢や他市の状況について注視し、給食費無償化や公費負担拡大について研究してほしい。
- (3) 保護者負担が増えても美味しい給食をしっかりと食べてほしいという意見も保護者の中にはあるので、給食の内容充実のために必要であれば、保護者への丁寧な説明等を行った上で給食費の値上げを行うことも否定するものではない。

8 その他

- (1) PTA会費については今後のPTAの在り方も含めた動向に注視しながら、今後の対応を引き続き検討してほしい。
- (2) 今回の提言を受けて海老名市教育委員会が定める方針について、5年を目途に実施状況及びその効果について検証を行ってほしい。